

三年とうげ

李 錦玉



児童文学

ビデオライブラリー

三年とうげ

李 錦玉 原作
朴 民宜 絵



ある所に、三年とうげとよばれるとうげがありました。昔から「三年とうげで転んだならば、三年きりしか生きられぬ。…」という言い伝えがありました。ところが、一人のおじいさんが、石につまずいて転んでしまったからたいへん。

……………

病気になったおじいさんをトルトリが見舞いにきていきました。「——三年とうげで、もう一度転ぶんだよ。」

「——わしに、もっと早く死ねと言うのか。」

「——一度転ぶと三年生きるんだろ。——何度も転べば、ううんと長生きできるはずだよ。」

そこで、おじいさんは三年とうげに行き、わざとひっくりかえりました。

「えいやら えいやら えいやらや。一べん転べば三年で、十べん転べば三十年、——長生きするとは、こりゃめでたい。」あまりのうれしさにふもとまで、転がり落ちてしまいました。